

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8 年 2 月 27 日 (13:00 ~ 14:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 齋藤啓・廣瀬・齋藤浩・新道・村田・近藤・清水

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		5人	2人		7人

前回の改善計画
利用者、家族、関わる職員も安全安心にケアが出来て、お互いに信頼した関係を作るためにも知り得た情報やケアについて短時間でも情報共有できるようにミーティングの時間を設けます。家族からの情報をもらうためにも送迎時や連絡帳を活用し家族とのコミュニケーションを図ります。職員同士、少しの時間でも活用してミニミーティングをする時間を設ける意識づけを行い、口頭での伝達のみにならないようにしっかり記録を付けることを習慣化していきます。
前回の改善計画に対する取組み結果
利用前の退院カンファや面談時にケアマネだけでなく現場職員も同行するように取り組み、職員で共有できるように努めました。送迎時や連絡帳を活用し家族とのコミュニケーションが取れるようにしました。引継ぎや短時間での伝達を行っていたが、職員が集まりしっかりと話し合うミーティングの時間を取る事が、業務が優先となり行いうことが出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1人	4人	2人		7人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2人	5人			7人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	4人	3人			7人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2人	3人	2人		7人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・家族への連絡は直に電話して、つながらなければ連絡帳などを利用しコミュニケーションは蜜に取っている。・連絡帳や送迎時に家族とコミュニケーションを取り、職員に対しては申し送りで伝える。その日いるスタッフで現場対応の合間に数分話すなど短時間でも申し送りや情報共有を行う意識をした。・ミーティング時に自分が思ったことがことや質問などもきちんと聞くことが出来た。・サービス利用時など自分の中で介助や支援について分からないことをリーダーや職員、ケアマネに聞いたり報連相を行うことで不十分なところを補うことが出来た。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・スタッフ間のしっかりとしたミーティングを行う回数が少ない。・スタッフが集まって行うミーティングが思うように行えなかった。・本人を支えるために特に本人の不安などを日ごろから会話などからも聞き取るということが不十分だった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	利用前からカンファや面談などにケアマネと職員が同行することを継続して行っていきます。利用者や家族が不安なく利用出来て、職員は安全安心に対応できるように知り得た情報を職員で共有します。日々の対応の中で変化する内容を、その日にいる職員、短時間でも情報共有が出来るようにしていきます。また課題となったミーティングについては年間で計画を立てて行うように取り組みます。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8 年 2 月 27 日 (13:00 ~ 14:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 齋藤啓・廣瀬・齋藤浩・新道・村田・近藤・清水

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		3人	4人		7人

前回の改善計画	利用者との関りを大切にしていくこと、また新しい利用者に対しては関わりの中でよく観察し、その方の声にならない思いを汲み取れるように努めます。利用者のやりたいことが出来る環境づくり、利用者や家族から希望のある買い物や外出といった事業所の中だけではなく地域に出かける活動も取り入れて行っています。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者や家族の思いを大切にしたい支援計画を行い利用者とのコミュニケーションを取りながら、スタッフ同士の話し合いやミーティングでの情報共有を行い、小さなことでも本人の「～したい」が実現できるように取り組みました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		2人	5人		7人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		2人	5人		7人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?			7人		7人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?			5人	2人	7人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・日々の関りの中で本人の小さな～したいは聞くことが出来ている。知り得た情報はケアパレットのケースなどに記入し共有できるようにしている。 ・担当している利用者については、～したいを日々の関りの中で聞くことは出来ていたり、改善取り組みは出来ていた。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・関わりの中で思いは聞けていても、利用者の～したいをスタッフで共有することや、実現に向けてどうするのかということまで話し合いを行い行動に移すことが出来ていないことがある。 ・外出支援に取り組みたかったが、人員体制の問題でスタッフに余裕がなかったりすることがあった。 ・利用者から～したいを聞くことが出来ない方の場合の、本人の思いを聴き取り考えていくことが不十分だった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者や家族の思いを大切にしたい支援計画を行います。利用者とのコミュニケーションを取りながら、スタッフ同士の話し合いやミーティングでの情報共有を行い、小さなことでも本人の「～したい」が実現できるように支援します。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8 年 2 月 27 日 (13:00 ~ 14:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 齋藤啓・廣瀬・齋藤浩・新道・村田・近藤・清水

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	2人		7人

前回の改善計画
 その人を良く知るようにアセスメントシートを活用し、利用者本人が何が出来て何が出来ないかをしっかりと把握していきます。本人の出来る事を奪わないケアを行いながら、生活リハビリを行う意識づけを職員が持って関わり、必要な時には介助方法の見直しにもつなげていきます。

前回の改善計画に対する取組み結果
 日々の利用者の気持ちや体調の変化があったときには介助方法や対応などを相談して共有を行い、柔軟に対応することが出来ました。アセスメントシートの活用はまだ弱い部分があり、情報の更新とケアについては職員全員での情報共有が課題となりました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?			7人		5人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?		5人			5人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?			5人		5人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2人	5人			7人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2人	5人			7人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・本人の気持ち、体調の変化があった時には情報共有を行い、介助方法や対応などが変更になった場合には柔軟に対応している。本人の気持ちに出来るだけ寄り添うように対応している。
 ・アセスメントシートの活用、利用者とのかかわりの中でのケアの改善を行い、リーダーや職員との情報共有や相談などは出来ていた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・現在の姿、今に主に注目ばかりしていて、現在の自宅での生活環境に至るまでの背景や、以前のくらしまで深堀出来なかった。
 ・アセスメントの生活環境や、以前の暮らし方など細かい点をきちんと把握することが出来ていないように思う。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 毎日の気持ちや体調の変化への柔軟な対応を継続しつつ、現在の姿だけでなく「以前の暮らし方」や生活環境の背景まで深堀りして把握できるようアセスメントの活用を行います。得られた情報は職員全員で共有し、より個別性に配慮したケアの改善につなげます。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8 年 2 月 27 日 (13:00 ~ 14:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 斎藤啓・廣瀬・齋藤浩・新道・村田・近藤・清水

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		3人	4人		7人

前回の改善計画	利用者全員のアセスメント、家族との情報共有を密に行い、小規模のサービスを一人ひとり合う形にしています。利用者と地域をつなげて、住みやすい地域にしていけるよう取り組みます。
前回の改善計画に対する取組み結果	独居の利用者を中心に、普段の会話から人間関係やくらしの流れを聞き取り、ケアマネを中心に話し合うことができました。一方で、利用者ごとの社会資源の把握や、住む地域との関係性の理解を深める点については不十分な結果となりました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		3人	4人		7人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		2人	5人		7人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		3人	4人		7人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		2人	5人		7人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・特に独居の利用者の人間関係などは、普段の会話から聞き取り、だいたいのくらしの流れを理解しながら、ケアマネを中心に話し合うことが出来た。 ・本人や家族から聞いたことをしっかりとリーダーやケアマネに伝え情報共有が出来るように努めた。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の住む地域との関係をしっかりと理解することが出来なかった。 ・利用者ごとの社会資源の把握が不十分だった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>普段の会話から人間関係や生活を理解する取り組みを継続します。今後は、利用者が住む地域との関係性をしっかりと把握し、一人ひとりに必要な社会資源を理解した上で、地域とのつながりを支える支援体制を強化します。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8 年 2 月 27 日 (13:00 ~ 14:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 齋藤啓・廣瀬・齋藤浩・新道・村田・近藤・清水

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		3人	4人		7人

前回の改善計画
利用者一人ひとりに合った柔軟なサービスが提供できるためにも、地域の資源は何があるのか、利用者にはどう活かせるかをスタッフで話し合い取り組んでいきます。

前回の改善計画に対する取組み結果
本人の変化に合わせて訪問や宿泊などサービスを柔軟に変更し対応するとともに、宅配弁当や移動販売、江守ピンピンカラダ塾などの地域資源を活用することができました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		3人	4人		7人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1人	3人	3人		7人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?		5人	2人		7人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?		7人			7人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・ニーズに応じてのサービスを組み立て、地域資源（宅配弁当・移動販売・江守ピンピンカラダ塾など）を活用できている。
 ・本人の変化からその都度あった訪問や宿泊などサービス変更を行うことが出来た。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・まだまだ地域資源をうまく活用できていないと思う。
 ・小規模のサービスを提供する中で、普段から地域資源への活用の発想転換が弱かった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 変化に応じた柔軟なサービス変更は継続しつつ、小規模のサービスを提供する中で地域資源を活用する発想を日頃から持てるように意識づけを行います。事業所内にとどまらず、地域資源をより上手く活用するための話し合いを進めます。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8 年 2 月 27 日 (13:00 ~ 14:00)

6. 連携・協働

メンバー 齋藤啓・廣瀬・齋藤浩・新道・村田・近藤・清水

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		7人			7人

前回の改善計画	江守ピンピンカラダ塾は継続しながら、他にも様々な活動を地域住民と利用者と一緒に参加できるように取り組んでいく。地域行事への参加や介護者のつどい・きらめき保健室を通じて江守きらめきを知ってもらう活動に取り組みます。
前回の改善計画に対する取組み結果	毎週行う江守ピンピンカラダ塾への参加は継続できており、参加する利用者も意識するようになった。サ高住・特定・認通・小規模の利用者と地域の方数名が毎週楽しく活動を行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	1人	6人			7人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1人	2人		4人	7人
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?			4人	3人	7人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		3人		4人	7人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方がスティックリングを江守きらめきでしている。江守ピンピンカラダ塾でサ高住や地域の方、各部音の利用者で参加したい方が集まっている。介護者のつどい、ハーツ学園と羽水での毎月のきらめき保健室を開催し、なじみの関係づくり、相談できる場所づくりの活動を行っている。 ・担当者会議や研修・会議などへの参加は出来ている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域での活動への参加があまりできていない。 ・江守ピンピンカラダ塾以外でも集える場所づくりを行いたかったが、人員体制の弱さや業務が優先となり行うことが出来なかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>介護者のつどいやきらめき保健室、ピンピンカラダ塾の活動を通じて、地域とのなじみの関係づくりを継続します。今後は人員体制や業務のバランスを考慮しつつ、各種地域活動への参加を増やし、他の集える場所づくりについても検討を進めます。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8 年 2 月 27 日 (13:00 ~ 14:00)

7. 運営

メンバー 齋藤啓・廣瀬・齋藤浩・新道・村田・近藤・清水

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		1人	6人		6人

前回の改善計画	
スタッフ同士が同じように情報共有できる環境を作り、なぜ出来ないのかを原因分析してどうしたら行っているのかということを考えミーティングの時間を確保していきます。江守きらめきが地域の中で何が出来るのかを考え利用者や地域住民、スタッフの連携がとれる場所になるように取り組みます。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
・ミーティングの時間をしっかり取ることが出来ませんでした。短時間やその場にいるスタッフ同士で話したり、ツールに入れることで共有しているが計画時に思っていたしっかりとしたミーティングが出来ていない。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?		3人	4人		7人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		3人	4人		7人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		4人	3人		7人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?			4人	3人	7人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・意見や苦情があった場合にはすぐに対応し、共有するようにしている。 ・新規利用者の情報共有は行うことが出来、利用者や家族からの意見も都度スタッフ同士で話すことは出来ていると思う。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ミーティングの時間をしっかりと取ることが出来なかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者や家族からの意見、苦情には引き続き迅速に対応し、都度の情報共有に努めます。課題となっている「しっかりとしたミーティングの時間確保」に向けて人員体制や業務を見直し、スタッフ同士がじっくりと意見交換や原因分析ができる環境づくりに再度取り組みます。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8 年 2 月 27 日 (13:00 ~ 14:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 齋藤啓・廣瀬・齋藤浩・新道・村田・近藤・清水

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人		4人		7人

前回の改善計画	個人のスキルアップのための研修や、資格取得を奨励していきます。学ぶことで知識や技術力を身に付け、ケアの質の向上に努めます。各スタッフが自ら受けたいと思う研修に参加し、現場に落とし込むことが出来るようにしていきます。
前回の改善計画に対する取組み結果	職員へ個々に合った研修を勧め、自発的に研修を受けに行く職員が増えるなど、希望する研修への参加は促進できました。しかし、受けた研修内容を現場に落とし込むための伝達講習の場を作ることができませんでした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	1人	3人	3人		7人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		3人	4人		7人
③	地域連絡会に参加していますか	1人		5人	1人	7人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		5人	2人		7人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・自発的に研修を受けに行く職員が増えている。 ・受けたい研修への参加が出来ている。 ・職員へこの研修を受けた方が良いなど個々に合った研修をすすめることができた。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・自ら受けたい研修を受けることは出来たが、それを現場に落とし込むための伝達講習の場を作れなかった。 ・伝達講習をしてもらうためには、行うスタッフに時間を作ったり段取りなど配慮すること。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>スタッフの主体的な研修参加を引き続き支援します。今後は、受けた研修を現場に落とし込むため、伝達講習を行うスタッフへの配慮 (時間確保や段取りなど) を事業所として行い、全体でのケアの質向上に確実につなげます。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8 年 2 月 27 日 (13:00 ~ 14:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 齋藤啓・廣瀬・齋藤浩・新道・村田・近藤・清水

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?		7人			7人

前回の改善計画	スタッフ全員が身体拘束や虐待の認識を持ち対応していきます。ケアに関しては情報共有することで介助方法を統一し、間違いを見つけたらお互いに伝え合える環境を作ります
前回の改善計画に対する取組み結果	毎年研修や委員会を行い、スタッフ全員が身体拘束や虐待防止の認識を持って対応できました。ケアに関しての情報共有も行われ、間違いに気づいた時には職員間で伝え合うことができました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	3人	4人			7人
②	虐待は行われていない	7人				7人
③	プライバシーが守られている		7人			7人
④	必要な方に成年後見制度を活用している		7人			7人
⑤	適正な個人情報の管理ができている		7人			7人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・毎年研修や委員会を行いスタッフも認識を持ち対応できている。・独居の方など、自宅での生活を行いながら、困難な面を成年後見制度の申請などにつなげることが出来た。・ケアに関しての情報共有はされていた。間違いに気づいた時に、職員にすぐ伝え合った。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・職員によって伝えづらい時は直接言えずリーダーなどに相談した。・個人情報管理を行っているが、フロアのデスク周りが見える状態で置いてある時があった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
成年後見制度の活用支援や、研修等を通じた人権意識の向上は継続します。今後は、フロアのデスク周りの整理など個人情報管理を徹底するとともに、職員間で直接意見を言いづらい場合でもリーダーへ相談できるような、円滑なコミュニケーション体制の強化に努めます。	